

### Ⅲ 24年度学校関係者評価委員会からの提言と学校の改善計画

#### ◆ 1 【学び舎について】

提言	学び舎について、ホームページを見ても情報不足である。25年度は、世田谷9年教育の完全実施の年である。情報提供の仕方の再構築やホームページの充実とともに、「自立の学び舎」の更なる、具体的な活動の推進を期待している。
取り組み	◎ 学び舎について 「自立の学び舎」の名前は、児童生徒の「自立」を促し育てることが小中学校の使命であると考えて名づけられました。25年度は児童生徒の社会性の育成について共に考え、取り組んでいく予定です。取り組みの内容や状況を、学校便りやホームページ、保護者会等で積極的にお知らせします。また、児童の中学校との交流の機会を増やすとともに、保護者も巻き込んだ中学校との交流にも取り組んでいきます。 ◎ 学校ホームページについて ○ 学校日記・給食等日常的な更新は今年度同様に行っていきます。 ○ ホームページへの情報発信を各分掌に位置づけ、組織的な情報発信ができるよう努めます。 ○ 今年度強化した「防災」や、新設した「PTA」など、情報発信の充実に努めます。

#### ◆ 2 【生活指導について】

提言	生活指導は、教師と児童の信頼関係が根底になくしてはならない。友達のような関係ではなく、良い意味での上下関係を構築する必要がある。 また、児童の生活指導においては、家庭との協力が不可欠である。保護者会等を利用して、教師自身の指導観を伝えと共に、保護者への協力を呼び掛けてはどうか。
取り組み	◎ 児童に対して ○ 年度はじめに、児童に「やってはいけない（これだけは許さない）こと」と「やって欲しいこと」を明確に伝えます。そして、「やってはいけないこと」をした場合には、時を逃さずにしっかりと叱り、「やって欲しいこと」ができた場合には、たっぷりと褒めることを遂行します。 ⇒教員も… ・児童とした約束（自分がやるといったこと）を小さなことでもきちんと守ります。 ・時間（45分授業）を守ります。 ○ 児童と会話をする際には、丁寧語を用いるようにします。 ・教員の言葉遣いが丁寧になり過ぎないように気をつけます。 ⇒児童への「お願い」なのか、「指導・指示」なのかの区別をしっかりとつけるようにします。 ・児童に丁寧語を用いることを指導します。 ○ 児童を呼ぶ際には、名前に「姓+さん」「姓+くん」をつけるようにします。 ・将来的には、全員を「姓+さん」と呼ぶ方向で意識させていきます。  ◎ 保護者に対して ○ 保護者に児童のよかったところを積極的に伝え、保護者との関係を築いていきます。 ○ 困っていることも保護者に積極的に伝え、家庭の協力を得るようにします。 ・その児童にとっての課題が見えるようになります。 ・困っていることへの早い対応を意識することが出来ます。 ○ 児童と担任との信頼関係が築けるよう協力をお願いします。

#### ◆ 3 【あいさつについて】

提言	「率先垂範」を継続して行い、大人があいさつの手本となるよう、実証してほしい。 保護者や教師のあいさつに対する認識と、児童の認識にずれがある。限られた条件の中でしか、児童があいさつできていないということが考えられる。あいさつについての、ガイドラインやモデルケースを作成し、自信をもってあいさつできる児童が増えることを期待する。
取り組み	○ 今年度と同様、学校全体で取り組んでいきます。PTAとの連携も継続します。教師が率先してあいさつをします。 ○ オアシス運動を推進します。 具体的施策：① 学年度初めに、委員会活動と連携して、児童会でオアシス運動を進めます。 ② 代表委員会がオアシス運動のポスター(常掲のもの)を作成し、全校朝会でよい挨拶の仕方と好ましくない挨拶の仕方を示すようにします。 (例) あいさつは いつでも えがおで えしゃくして ③ 新聞委員会の活動として、②で示した好ましい挨拶等について紹介する新聞を作成し、校内に貼るようにします。 ○ 学級指導の中で、毎学期の始めに時間を取って指導します。

#### ◆ 終わりに

今年度の学校関係者評価報告には、評価委員会からいただいた「提言」の部分を原文通りにのせました。提言は「学校（教職員）」と「保護者」の2つの部分にわかれています。厳しくも温かい、示唆に満ちた提言、大変ありがとうございました。地域・保護者のみなさまもぜひお読みください。

学校関係者評価委員会からは、上記3つ以外に「地域との連携強化」「安全教育の充実」を課題としてご指摘いただきました。組織的な対応、組織間の連携をより密にしてい、継続的な取り組みとなるよう改善を図っていきます。

課題は多くありますが、提言を真摯に受け止め、学校改善に教職員とともに取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。